

# 最新 DTP ワークフロー制作トレーニング 目次

|                                     |           |
|-------------------------------------|-----------|
| <b>1. 印刷物制作の流れ</b> .....            | <b>1</b>  |
| 1.1. 従来ワークフロー .....                 | 1         |
| 1.2. 最新ワークフロー .....                 | 2         |
| 1.3. 最新ワークフロー移行のポイント .....          | 4         |
| <b>2. バージョンの変化に伴う新機能</b> .....      | <b>5</b>  |
| 2.1. Adobe CS 以降の主な新機能 .....        | 5         |
| Adobe Illustrator CS 以降 .....       | 5         |
| Adobe Photoshop CS 以降 .....         | 17        |
| 2.2. ADOBE BRIDGE の役割 .....         | 22        |
| <b>3. ILLUSTRATOR 素材制作</b> .....    | <b>24</b> |
| 3.1. 素材制作演習 .....                   | 24        |
| 3.2. ILLUSTRATOR データのチェックポイント ..... | 27        |
| <b>4. PHOTOSHOP 画像処理</b> .....      | <b>30</b> |
| 4.1. 素材制作演習 .....                   | 30        |
| 4.2. PHOTOSHOP データのチェックポイント .....   | 31        |
| <b>5. INDESIGN によるレイアウト</b> .....   | <b>32</b> |
| 5.1. 制作演習 .....                     | 32        |
| 5.2. QuarkXPress データの変換 .....       | 34        |
| <b>6. DTP ワークフロー知識 (参考資料)</b> ..... | <b>35</b> |
| 6.1. DTP 環境の変遷 .....                | 35        |
| 6.2. フォントの知識 .....                  | 36        |
| 6.3. PDF 入稿の知識 .....                | 39        |

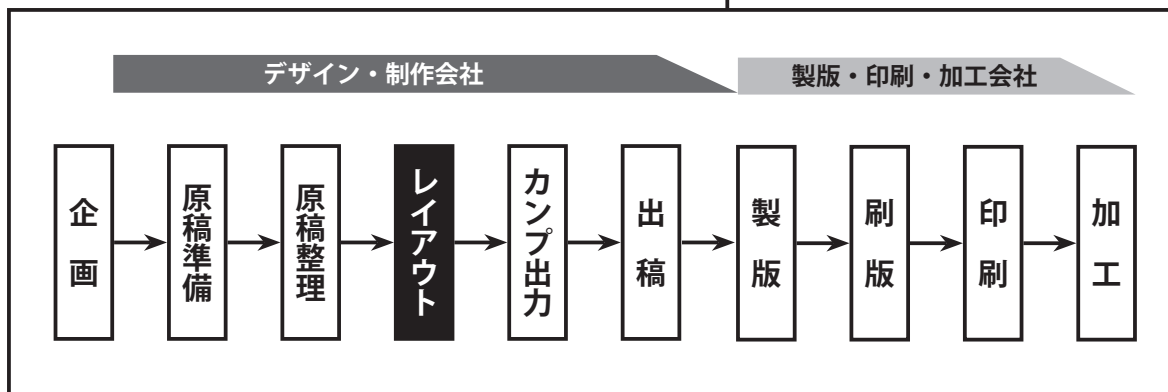
# 1. 印刷物制作の流れ

## 1.1 従来ワークフロー

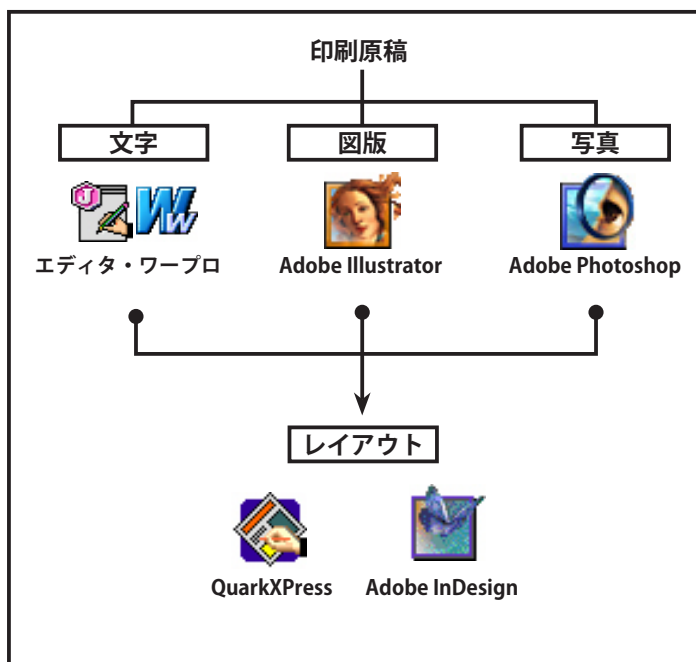
### ■さまざまな印刷物

| 分類       | 印刷物種類                                   |
|----------|---|
| 商業印刷物    | 広告・宣伝用（チラシ・パンフレット・ポスター）、業務用（マニュアル、社内報）… |
| 出版印刷物    | 新聞・雑誌・書籍・教科書・辞典…                        |
| 事務印刷物    | 伝票・封筒・名刺・はがき・ノート…                       |
| パッケージ印刷物 | 紙器・包装紙・軟包装・プラスチック・缶類                    |
| その他特殊印刷物 | 建材・布地・玩具・プリント基板・ICカード                   |

### ■従来の制作～印刷のワークフロー



### ■従来の印刷物制作ワークフロー



### ◆ツール群のバージョン

左図では、画像・イラストの編集やレイアウトデザインに使用されている一般的なツール群を挙げてあります。制作・製版作業で使用されているバージョンについては、以下のようになっています。(2008年5月現在)

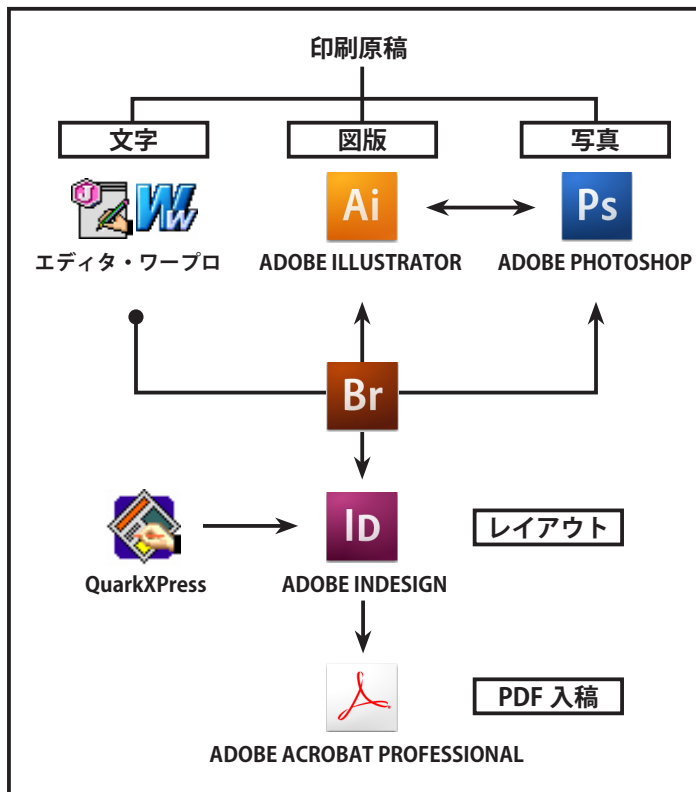
- Adobe Illustrator 8.0～10、CS～CS3
- Adobe Photoshop 5.5～7.0、CS～CS3
- QuarkXPress 3.1/3.3～4.1、6.5
- Adobe InDesign 2.0、CS～CS3
- Mac OS 8.1、8.6、9.2、10.3、10.4、10.5
- Windows 2000、XP、Vista

本講座では、以下環境にて制作実習作業を行います。

- ADOBE ILLUSTRATOR CS3
- ADOBE PHOTOSHOP CS3 EXTENDED
- ADOBE INDESIGN CS3
- Mac OS X 10.4 or Windows XP

1.2 最新ワークフロー

■最新の印刷物制作ワークフロー



■最新ワークフローのポイント

その 1. Mac OS X 環境での制作

Adobe Systems 社のツールのうち、Adobe CS 以降の製品は、Macintosh 環境下で使用する場合、Mac OS X での利用が必須です。

Mac OS 9 と Mac OS X では、移行に際して多くの点に配慮が必要となります (ユーザインターフェース、ファイル管理、フォント、各種入出力装置のドライバ環境など)。

しかし、現在市場で販売されている Macintosh は、Mac OS X 10.4 (Tiger) か 10.5 (Leopard) をインストール済みのマシンのみです。今後、マシンのリプレースにおいては、Mac OS X 環境にならざるを得ない状況となります。

その 2. ADOBE BRIDGE が果たすハブ

Adobe CS2 以降にバンドルされているソフト『Adobe Bridge』は、Adobe CS 製品群のハブとしての役割を果たします。

◆ワークフローの傾向

印刷物原稿が、アナログからデジタルに変わった段階を第一世代とすると、現在は、第二世代に入っています。

第一世代では、制作ツールのネイティブデータ (制作ツールのファイル形式) での入稿が一般的でした。配置画像を添付し、使用フォントも明記し、印刷所がないフォントを使用している場合には、フォントをアウトライン化して入稿していました。

第二世代では、制作ツールが何であれ、入稿データを印刷用の版を出力する品質の PDF へ変換し、PDF 内に画像・フォントを埋め込んでいます。

こうした入稿形態に対応するには、出力機器設備を整える必要がありますが、現状、全国の 8 割以上の印刷会社では、この環境が整ってきています。

◆2. バージョンの変化に伴う新機能 参照

P.22 ADOBE BRIDGE の役割

### その3. ネイティブ入稿から PDF 入稿へ

従来、印刷業界では、入稿データにおいて次のようなトラブルがありました。

- ・文字化け、リフロー  
(フォント環境の違い)
- ・配置画像のリンク切れ、配置画像のファイル添付忘れ  
(ファイル形式の仕様、交換者間の人的ミス)
- ・色がおかしい  
(オーバープリント、トラッピング設定ミス)
- ・色が合わない  
(カラースペースのミス:RGB, ICC プロファイル設定ミス)

このようなトラブルを回避するため、印刷データ交換を行うデザイン制作会社、印刷会社間では、データ入稿ルールを決めてやり取りしていました。

日本では、主にネイティブデータ（アプリケーション独自フォーマット）でやり取りされていますので、データ交換や DTP データ出力に際しては、個々のソフトウェアやハードウェアの仕様などの技術的なスキルが求められます。

このような煩雑な環境の違いを吸収して、安全な出力を可能とするフォーマットとして、PDF/X という規格（印刷データ交換用フォーマット）が生まれました。

この PDF/X は、近年、印刷物データの入稿形態として注目されています。

また、印刷版出力機器でも PDF 出力に対応する機器が出揃い、出力環境が整ったことから、徐々に、PDF 入稿を推進する企業が増えてきています。

### その4. 入稿後修正のないデータであること

ネイティブデータでの入稿が PDF 入稿へと変化すると、制作作業を納期ぎりぎりまで行うことができる一方、データに対する責任の所在は、すべて制作側へと移行します。

PDF データに対する修正は、切り貼りの文字修正など限られたことしかできません。そのため、PDF 入稿をスムーズに行うためには、入稿後修正のないデータになっていることが望ましいと言えるでしょう。

#### ◆ PDF/X

PDF/X は、印刷用原稿の交換用に適した PDF の仕様です。ISO（国際標準化機構）で規格化されており、以下の規格が公開されています。

- 1) ISO 15929 : 2002 — PDF/X  
PDF/X 規格の開発の指針及び原則
- 2) ISO 15930-1 : 2001 — PDF/X-1 and PDF/X-1a  
CMYK データ (PDF/X-1 及び PDF/X-1a) を使用する完全交換
- 3) ISO 15930-2 : PDF/X-2  
印刷用データの部分交換 (PDF/X-2)
- 4) ISO 15930-3 : 2002 — PDF/X-3  
色彩管理ワークフロー (PDF/X-3) に適した完全交換
- 5) ISO 15930-4 : 2003 — PDF/X-1a  
PDF 1.4 (PDF/X-1a) を使用する CMYK の完全交換及びスポットカラー印刷データ
- 6) ISO 15930-5 : 2003 — PDF/X-2  
PDF 1.4 (PDF/X-2) を使用する印刷データの部分交換
- 7) ISO 15930-6 : 2003 — PDF/X-3  
PDF 1.4 (PDF/X-3) を使用するカラー管理ワークフローに適した印刷データの完全交換
- 8) ISO 15930-7 : 200X — PDF/X-4  
PDF 1.6 (PDF/X-3) を使用する CMYK の完全交換及びスポットカラー印刷データ
- 9) ISO 15930-8 : 200X — PDF/X-5  
PDF 1.6 (PDF/X-3) を使用するカラー管理ワークフローに適した印刷データの完全交換